

2022年度一般社団法人日本ゴールボール協会事業計画

1.大会事業

【主要大会】

◆男子予選大会

日程：2022年7月29日(金 予備)・30日(土)・31日(日)

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地

備考：2コート

参加チーム数により、日程調整をする。

◆女子予選大会

日程：2022年8月13日(土)・14日(日)

会場：福岡市総合体育館

〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目1-1

備考：2コート

◆日本選手権大会

日程：2022年11月26日(土)・27日(日)

会場：新宿スポーツセンター

〒169-0072 東京都新宿区大久保3丁目5-1

備考：2コート

【共催大会】

◆2022 ジャパンパラゴールボール競技大会 (JPSA 主催)

日程：2021年12月3日(土)・4日(日)

会場：関東近郊

【オフィシャルクリニック】

◆男子予選大会 オフィシャルクリニック

日時：2022年6月19日(日)

会場：所沢市民体育館(埼玉県)

備考：練習会と合同開催

◆女子予選大会 オフィシャルクリニック

日時：2022年7月3日(日)

会場：クローバープラザ

福岡県春日市原町3丁目1-7

JR春日駅下車 徒歩1分

西鉄天神大牟田線春日原駅下車 徒歩10分

備考：練習会と合同開催

◆日本ゴールボール選手権大会 オフィシャルクリニック

日時：2022年11月6日(日)

会場：新宿スポーツセンター(東京都)

備考：練習会と合同開催

【国内レフェリークリニック】

◆男子予選大会国内レフェリークリニック現任・新任研修

日時：2022年6月18日(土)、19日(日)

※現任研修は実技講習のみ19日(日)

会場：所沢市民体育館(埼玉県)

備考：男子予選オフィシャルクリニックと合同開催

◆女子予選大会国内レフェリークリニック現任・新任研修

日時：2022年7月2日(土)、3日(日)

※現任研修は実技講習のみ3日(日)

会場：クローバープラザ

福岡県春日市原町3丁目1-7

JR春日駅下車 徒歩1分

西鉄天神大牟田線春日原駅下車 徒歩10分

備考：女子予選オフィシャルクリニックと合同開催

◆日本選手権大会 国内レフェリークリニック現任・新任研修

日時：2022年11月5日(土)、6日(日)

※現任研修は実技講習のみ6日(日)

会場：新宿スポーツセンター(東京都)

備考：日本ゴールボール選手権オフィシャルクリニックと合同開催

【国際レフェリークリニックレベル2、レベル3】 調整中

日程：2022年8月11日(木)・12日(金)・13日(土)・14日(日)

会場：福岡市総合体育館

〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目1-1

2.男女強化事業スケジュール

2022年

- ① 4月16日(土)～24日(日)
- ② 女子：4月29日(金)～5月2日(月)
男子：4月29日(金)～5月5日(木・祝)
【マルモ大会(女子)】5月6日(金)～8日(日)
※5月3日深夜出国～10日帰国
- ③ 5月21日(土)～6月5日(日)
【アジアパシフィック選手権】※延期(開催地、日程未定)
【世界選手権】※延期(開催地、日程未定)
- ④ 6月18日(土)～26日(日)
- ⑤ 7月9日(土)～18日(月)
【男子予選】7月29日(金)～31日(日) 所沢市民体育館
【女子予選】8月13日(土)～14日(日) 福岡市総合体育館
- ⑥ 8月20日(土)～28日(日)
- ⑦ 9月17日(土)～21日(水)
- ⑧ 10月1日(土)～8日(土)
【アジアパラ大会】10月9日(日)～15日(土) 杭州
※10/8(土) 出国～16日(日) 帰国予定
- ⑨ 11月12日(土)～13日(日)
【日本選手権】11月26日(土)～27日(日) 新宿区スポーツセンター
【ジャパンパラ競技大会】11月30日(水)～12月4日(日) 関東近郊
- ⑩ 12月17日(土)～28日(水)

2023年

- ⑪ 1月7日(土)～9日(月)
【パジュラハティ大会】19日(木)～22日(日)
※16日(月) 成田前泊、17日(火) 出国～24日(火) 帰国
 - ⑫ 2月4日(土)～12日(日)
 - ⑬ 2月23日(木)～26日(日)
 - ⑭ 3月4日(土)～5日(日)
 - ⑮ 3月18日(土)～26日(日)
-

3.技術部

視覚特別支援学校や障害者スポーツ関連機関等と連携し、国内でゴールボール競技の普及と振興を推進するため、当協会独自の取り組みとして、地域での体験会や普及大会等の機会を設け、障害者スポーツへの一層の理解と普及・啓発を図る。

また、初心者向けのチャレンジ大会を各地域で実施し、障害の有無に関係なく交流を図る。

(1) 盲学校体育連盟との連携事業

各都道府県の視覚特別支援学校及び一般校の特別支援学校 2校予定

(2) 普及事業

◎2022ゴールボールキャンプ

日程：2022年12月17日(土)～18日(日)

会場：岐阜県福祉友愛アリーナ

備考：1コート

(3) チャレンジ大会

◎2022チャレンジゴールボール九州大会 Supported by 日本郵便

日程：2022年6月5日(日)

会場：G&B 海洋センター(熊本県)

◎2022チャレンジゴールボール北信越大会 Supported by 日本郵便

日程：2022年7月3日(日)

会場：金沢市総合体育館(石川県)

◎2022チャレンジゴールボール北海道・東北大会 Supported by 日本郵便

日程：2022年7月10日(日)

会場：多賀城市総合体育館(宮城県)

◎2022チャレンジゴールボール中国大会 Supported by 日本郵便

日程：2022年9月4日(日)

会場：邑南町健康センター(島根県)

◎2022チャレンジゴールボール関東大会 Supported by 日本郵便

日程：2022年10月8日(土)

会場：つくば市桜総合体育館(茨城県)

◎2022チャレンジゴールボール近畿大会 Supported by 日本郵便

日程：2022年10月30日(日)

会場：舞洲障害者スポーツセンターアミティ舞洲(大阪府)

◎2022チャレンジゴールボール四国大会 Supported by 日本郵便

日程：2023年1月29日(日)

会場：愛媛県障害者福祉センター(愛媛県)

◎2022チャレンジゴールボール東海大会 Supported by 日本郵便

日程：未定

会場：愛知県予定

(4) 体験会

◎各種関連機関との連携強化事業・体験会

※日程と会場は、調整中(何れもチャレンジゴールボール大会とも連動予定)

(5) その他協力事業

◎その他、小・中学校、高校、依頼事業への協力

4.広報・マーケティング部

(方針)

ゴールボールの魅力を確認にして広く伝えることで、ゴールボール競技やゴールボール日本代表の価値を高める。これまでの広報部とマーケティング・プロモーション部を統合し、広報とマーケティングのシナジー効果を目指す。また、中・長期基本計画の見直しと2024年に控える日本ゴールボール協会設立30周年に向けた準備に着手する。

(1) 広報活動

ゴールボールの魅力を確認し、選手、指導者、会員、パートナー企業、報道機関などのステークホルダーとのコミュニケーションを推進することで、ゴールボール競技とゴールボール日本代表の価値を高め、競技の普及に貢献する。

①ゴールボール競技の魅力の明確化

ゴールボールの魅力を確認し、ウェブサイトやプレスリリース、ソーシャルメディア（動画の活用を含む）などを使用して伝える。

- I. ウェブサイトの更新/改善
- II. プレスリリースの配信先の充実
- III. 月刊ゴールボールマガジンの継続発行
- IV. 競技概要動画の作成/活用

②ゴールボール競技の価値向上

日本ゴールボール選手権大会やチャレンジゴールボール大会の告知をこれまで以上に広く行うことにより、ゴールボール競技を幅広く知ってもらう。はじめてゴールボールを観戦する人にとってわかりやすいゴールボールのルール解説など、繰り返し観戦したくなる工夫に取り組む。

- I. 大会ポスターの制作/配布先の拡充
- II. 大会公式プログラムの改善/充実
- III. 大会特設ウェブサイトの新設
- IV. スポーツプレゼンテーションのコンテンツ（ルール説明、BGM）作成
- V. YouTube ライブ配信の実施

③個人支援者の獲得

個人を対象にした支援メニューを開発し、ゴールボール競技への支援を幅広く呼び掛ける。財源を多様化させることで、協会の安定的で柔軟な運営に貢献する。

- I. 協会会員への入会を増やす取り組みの検討・導入
- II. 公益財団法人と連携した寄付金の検討・導入
- III. 物品寄付プログラムの検討・導入

IV. 寄付付き商品の検討

④ゴールボール日本代表の価値向上

ゴールボール日本代表の選手・スタッフや活動を丁寧に発信する。また、「オリオン JAPAN」という愛称を活用して、ゴールボール日本代表の価値をさらに高める。

- I. ウェブサイトの改善（選手プロフィール、日本代表ニュース、国際大会）
- II. 月刊ゴールボールマガジンの活用
- III. 愛称「オリオン JAPAN」ロゴ制作と活用
- IV. 「オリオン JAPAN」公式オリジナルグッズの検討

(2) マーケティング活動

すでにオフィシャル・パートナー・プログラムにご参画いただいている企業に対しては継続的な支援、多面的な支援を得られるように丁寧なフォローアップを行う。また、新規の企業・団体からの支援を得るために、経済界とパラスポーツ業界でゴールボール競技や日本ゴールボール協会のプレゼンス（存在感）を高める。

①マーケティング体制の整備・強化

企業営業経験・マーケティング経験がある非常勤職員を採用し、オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業へのフォローアップ体制と新たなオフィシャル・パートナー・プログラム参画企業を獲得していくための体制を強化する。

②オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業へのフォローアップ

契約書に明記されていない事項について柔軟かつ誠実な対応を行い、オフィシャル・トップ・パートナー、オフィシャル・パートナー、オフィシャル・サポーター、オフィシャル・サプライヤー各社の満足度向上に取り組む。また、オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業はゴールボールの普及を通じて共生社会の実現というビジョンを共有するパートナーであることを丁寧に伝え、NF協賛と大会協賛を同時にしていただけるように、それぞれのメニューの目的やメリットを明確にした上で、提案活動を行う。

- I. 契約書に明記された権益の確実な実施
- II. パートナーミーティングの開催
- III. 参画企業の取り組みを月刊ゴールボールマガジンやプレスリリース等で情報発信

③新規オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業の獲得

新規オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業を獲得するために、お問い合わせには丁寧に対応し、ゴールボールの魅力を伝える。ゴールボール競技の普及を妨げている課題を他部門とともに整理し、企業・団体の力を借りて課題を解決し、ゴールボール競技の普及を加速させる。

- I. 東京2020パラリンピック大会協賛社へのアプローチ

- II. 経団連や経済同友会へのアプローチ
 - III. 参画しやすい価格帯メニュー(10万円、20万円、50万円)の検討
 - IV. 自治体とのコミュニケーション
-

5.JGBA 理事会開催日(案)

◎理事会 全てオンライン会議

第1回	2022年	4月16日(土)
第2回		5月14日(土)
第3回		6月11日(土)
第4回		7月9日(土)
第5回		8月6日(土)
第6回		9月10日(土)
第7回		10月8日(土)
第8回		11月12日(土)
第9回		12月10日(土)
第10回	2023年	1月14日(土)
第11回		2月11日(土)
第12回		3月11日(土)